



犯罪被害者支援 大学生ボランティア



～昨年度参加した先輩からメッセージ～



犯罪というものを身近に感じられ、遺族の方々の言葉の重みを実際に感じられます。

人ごとのように感じられた「犯罪」という言葉の重みを考えさせられるとても良い機会になると思います。

(ノースアジア大学 目黒優吾さん)



今まで知らなかった事を知ることが出来るボランティアだと思います！

難しいこともありましたが、まわりの方と協力して活動するので、強調性が強められる活動でした。

(ノースアジア大学 井上愛梨さん)



将来目指す職種に関わらず、犯罪被害者支援という経験はプラスになります。

ぜひ、被害者や遺族のため、自分のために行動してみませんか？

(ノースアジア大学 学生)



事件・事故を起こしてしまう可能性、また被害者になる可能性は大学生の皆さんにも大いにあります。

このボランティアを通じてご遺族や被害者の助けになってみませんか。

(秋田大学 学生)



司法領域への就職を考えている人はもちろん、そうでない人も、犯罪被害者支援大学生ボランティアに参加することは犯罪被害について考えるととても良い機会になると思います。

(秋田大学大学院 学生)



私は、犯罪被害者支援大学生ボランティアに2年間参加しました。ボランティアとしてできることは小さなことかもしれませんが、犯罪被害に遭われた方の思いを形にするための支援として、大切な役割を経験することが出来ると思います。少しでも関心のある方には、ぜひ経験していただきたいと思います。

(秋田大学大学院 学生)



被害者遺族がどのような苦しみや痛みを味わったのかを県民の人たちに一人でも多く伝える活動は、社会の理解につながるだけでなく、犯罪抑止にもつながっている重要な活動だと感じました。

(ノースアジア大学 学生)



初めは『重い』『怖い』というイメージを抱いていた学生から1年間の活動を通して『温かみのある』ボランティアだったという声もありました。